

# スプリングレビュー調書

## 社会福祉部

### 【基本政策】

共生・共助による豊かな福祉社会づくり

### 【新たな視点による政策提案】

高齢者の見守り・支援ネットワークの基盤整備に向けて

- ◆ 高齢者をとりまく家族環境が大きく変化し、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が大幅に伸びている。

区分		H22. 4. 1 現在	H21. 4. 1 現在	比較増減
(1) 65 歳以上人口 (外国人除く)		179, 163 人	174, 794 人	4, 369 人 (2. 5%) 増
(2) 内訳	① 子らと同居の高齢者	93, 688 人	93, 412 人	276 人 (0. 3%) 増
	② ひとり暮らし高齢者	29, 805 人	28, 033 人	1, 772 人 (6. 3%) 増
	③ 高齢者世帯	55, 670 人	53, 349 人	2, 321 人 (4. 4%) 増

- ◆ ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯は、家族や地域とのつながりが希薄化する中で社会的孤立が進んでおり、地域や行政が積極的に見守り・支援を展開する必要がある。

### 【第 2 次浜松市総合計画の計画期間(H23~26)における主要課題等】

- ◆ 社会保障制度改革をはじめとする国の取り組み状況の変化に迅速に対応するとともに、地域と一体となった取り組みが重要となっている。
- ◆ 高齢者や障がいのある人に対して、住み慣れた地域や家庭でいきいきと暮らすことができるような地域での支援体制の充実が求められている。
- ◆ 不況による雇用状況の悪化に伴い、生活保護受給者が増加しており、自立に向けた取り組みが急務となっている。

### 【調査・研究を進めている案件、今後調査・研究を計画している案件】

- ◆ 「地域高齢者見守り・支援体制の構築に向けて」

(平成 23 年度政策課題研究研修テーマの提案)

高齢者の実態に応じた見守り・支援活動に取り組むことができるよう、地域における多様な社会資源や新たな情報システムなどを活用したネットワークづくりについての研究を進める。

【協議事項】(案件名を記入してください)

高齢者の見守り・支援ネットワークの基盤整備に向けて

【現状と課題】

(論点とすべき点を下線で強調してください)

- (1) 現状 高齢者の家族環境が変わり、社会的孤立により日常生活に不安を抱えるひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が増加している。
- (2) 対応 新たに「地域高齢者見守り・支援事業」として取り組む (H23 新規)
  - ・実態把握 民生委員の協力を得て「地域高齢者実態調査」を実施
  - ・安心への備え 緊急医療情報キットの配布
- (3) 課題 今後、関係機関との情報共有や高齢者の実態に応じた「地域高齢者見守り・支援活動」の拡充を図るための仕組みづくりが求められている。

【課題解決に向けた今後の方向性】

(論点とすべき点を下線で強調してください)

地域高齢者見守り・支援活動の拡充

- (1) 見守り・支援ネットワークづくり
    - 「地域高齢者見守り・支援活動」を拡充するため、地域包括支援センター、民生委員、福祉サービス事業者、ボランティア団体など、地域における多様な社会資源を活用した見守り・支援ネットワークづくりを進めていく。
      - ・当面 個人情報等の守秘義務が課せられた関係組織に限定した活動
      - ・将来 地域の多様な社会資源を活用した見守り・支援ネットワークの構築
  - (2) ネットワークを支える基盤整備
    - 普段のさりげない見守り活動の中で、「もしや」「あれっ」と異常を感じたとき、ネットワーク構成員が連絡通報できる受け皿や初動対応を可能とする基盤を整備する。
      - ・通報連絡先の明確化
      - ・ネットワーク構成員の役割限定による負担軽減
      - ・民生委員、地域包括支援センターの負担軽減
- } ネットワーク構築の容易化

【今後の主要事業】

(論点とすべき事業を下線で強調し、別途資料として政策・事業シートを添付してください)

- (1) 見守り・支援ネットワークづくり
  - ・郵便配達、新聞配達など見守り応援事業者との提携
  - ・地域包括支援センターを核としたネットワークの立ち上げ
- (2) ネットワークを支える基盤整備
  - ・ネットワーク構成員からの気づき(異常発見)の通報の受け皿となる専門性の高いコールセンター機能の設置
  - ・コールセンターからの出動要請により現地確認、問題解決を行うことができる専門スタッフの確保

**【論点】**

- ◆ 高齢者見守り・支援活動の拡充について
  - 高齢者見守り・支援ネットワークの構築について
  - H23～H26の年度計画について
- ◆ 高齢者見守り・支援ネットワークを支える受け皿づくりについて
  - 看護師や保健師によるコールセンターの設置について

**【協議要旨】**

- ◆ 単体のコールセンターではなく、地域包括支援センターの拠点(基幹)センターを設け、コールセンター機能を持たせるなど、地域包括支援センターの充実による高齢者見守り・支援活動の拡充について、他都市の事例も参考に検討を進める。
- ◆ 見守り・支援ネットワークづくりとして、郵便配達や新聞配達など見守り応援業者との提携を進める。